

意見提出フォームから頂いたご意見（令和8年2月）

NO	学校区	ご意見
1	光ヶ丘	<p>現在小学4年生の子どもがいます。小6になるときに、光ヶ丘小学校の名前が変わると、卒業証書などに記載される名前も変わるということが学校名に愛着を持っているため、寂しく感じるのでは？と思います。</p> <p>他校の児童もそうではないかと思いますが、そういったことへの配慮はどのようにされるのでしょうか。</p>
2	光ヶ丘	<p>子どもたちや保護者の意見を聞く前に、急に27年に統合しますと聞かされ驚いています。</p> <p>保護者もですが、子どもたちが戸惑っており「急にたくさんの子が異動してくるなんて嫌だ」とずっと言っています。</p> <p>決定事項かもしれませんが、学区の保護者や子どもたちへわかりやすく説明をしてほしいです。</p> <p>そして保護者のみではなく、子どもたちへもアンケートをしてほしいです。大人が思う以上に編成に対して色々な意見や思いを持っています。</p> <p>勝手に話を進める前に一番の当事者である子ども達の意見を聞いてほしいです。</p>
3	桃ヶ丘	<p>第1期学校再編で、学校名を変えなければならない理由がよくわかりません。学校名が短期間で変わるのには生徒が混乱するだけでなく、学校運営上も不都合が生じるのではないのでしょうか。</p>
4	桃ヶ丘	<p>子どもが通っている思い入れのある学校です。</p> <p>せっかく覚えた校歌はどうなるの？とか、取り壊しは子どもも悲しんでおります。</p>
5	その他	<p>教員です。教員の立場から、異動が3月に行われますが数日前に知らされても、再編に伴う学校の状況や児童の把握など、地元の出身の私でも不安でしかありません。地元のことを知らないでは保護者からの不信感も募ることでしょう。つまり、異動する教員は、地元出身者ということかを考慮するのか。</p> <p>また、再編に伴って、荷物を運んだり処分したりする必要が多々あると思うが、これらは現在赴任している職員が、その作業を負担するのか。</p>
6	篠岡	<p>有料でいいので、バスに乗りたい人は乗せてほしい。元々の通学圏内から外れる人はとくに…うちは篠岡から光なので</p> <p>光から光のままはとくに問題ないと思うが、希望者は乗せてほしい有料で。有料で選択制にすれば、バス圏内で揉めることもないと思う。</p>

7	陶	<p>子供も保護者も不安なことがたくさんあり、なぜ不安に思うのかというと1番は確定していることが少なすぎるのだと思います。</p> <p>体操服に関してや、通学帽子に関してなど小さなことでもなんでもいいので決まったことはその都度、発信していただけると少しずつ不安も少なくなるのではないかなと思います。</p> <p>都度発信するのは大変かと思いますが、できるだけ子供や保護者の気持ちに寄り添ったやり方をしてほしいなと思います。</p>
8	篠岡	<p>①再編は大いに賛成。少人数の閉鎖的空間では対人経験が少なく、高校や社会に出た時に困ると思う。子供がかawaiiそうと言う意見も考える会が出ていたが、それは親のエゴである。何をもってかawaiiそうなのか？子供にとって環境の変化は大きな事であるが、子供のうちからそういう経験をする事は社会に出た時にプラスにも働く。</p> <p>②学校名が変更されるとはいえ、光ヶ丘と桃ヶ丘の既存生徒、親、先生にいたるまで、「受け入れる側」感覚でマウントを取ろうとする者が必ず現れる。小牧市教委委員会も差別を避けるために合併ではなく再編と強くうたっているが、そもそも考える会の参加者は少なく、その方針が浸透しているとは言い難い。生徒を通してペーパーで親に知らせる等、テトルやホームページ以外の情報の発信も行なっていくべきと思う。</p> <p>③オヤジの会等、外部組織も「合流」や「こっちにくる、入る」と表現される。このことから、外部組織も一旦解体して、組織が浸透するまで教育委員会等公共の立場の方が代理で表立ち、1から組織を作り直す必要がある。</p>
9	陶	<p>再編にあたり、小牧市の他の小中学生と同じ教育、部活動を受けられることを臨む。</p> <p>児童クラブなど充実した授業後預けられる施設がある事を臨む。</p> <p>再編にあたり、デメリットよりもメリットが多くなるような教育を臨む。</p> <p>少人数の陶小の子が孤立しないよう、授業だけでなく友だちの作り方、友だちとの関わりを丁寧に見守って欲しい。</p>
10	大城(光ヶ丘中)	<p>スクールバス対象外の子供でもバス停まで送迎すれば、乗せてもらえるのか？</p>
11	陶	<p>先日の学校再編に伴って通学方法、児童クラブなどの説明がありましたが学校地域コーディネーター、放課後子ども教室についてはどうなっていますか？そちらも早めに進めて行ってほしいと思います。</p>
12	大城(光ヶ丘中)	<p>スクールバスについて地区を限定せずに停留所を増やし、全児童のせてあげてほしい。城山の子達も乗せてください。小学生が歩くには遠いし真夏など心配です。何度も主張しますが小学校が近いという利点があり今の土地を購入し家を建てています勝手な都合で再編されてこどもを遠くまで毎日歩かせなくてはいけないのは勝手だと思います。</p>
13	大城(桃陵中)	<p>今現在大城小4年生で6年生から桃ヶ丘小に通うことになりましたが、その場合の卒業アルバムはどうなるのでしょうか？大城小の場合、一緒に過ごしてきた友達が光小と桃ヶ丘小に分かれるのでこれまでの写真や文集(ある?)などはどうなるのかが気になります。</p>

14	大城（光ヶ丘中）	<p>子供が不安におもっています。再編の頃には受験を控えます。なるべく早めに方向性を伝えてあげたいものです。</p>
15	陶	<p>これまでの説明会を元に第四回小牧市議会で中川教育長は再編について合意形成や理解を得ていると発言されています。しかし、第五回考える会では「なにをもって合意形成といえるのか」という意見が会場から発言されています（中日新聞より）。この点だけでも「合意形成」という言葉に対する認識が教育委員会と住民側と違うとともに教育委員会側が「合意形成」という言葉の本質を理解せずに「合意形成」という言葉を発言しているとしか思えません。「合意形成」には数字や指標などの根拠が必要であり、これまで再編案に対するアンケートは「学校名」のみで行われて、「令和9年再編」に対するアンケートは行われていません。よって教育委員会側が発言されている「合意形成」には根拠がないため、「合意形成」という言葉を乱用していることとなります。このように言葉に本質を理解していない大人を見て、その大人が掲げる教育方針に元で育った今の子ども達が将来、大人になった際に自分の意見と相手の意見が食い違う際は今の教育委員会同様に言葉の本質を理解せずに「合意形成」という言葉を使う大人になりかねません。教育委員会は今の子ども達がそのような大人になることを望んでいるのですか？言葉の本質を教えるのも「教育」です。「合意形成」という言葉の本質を子どもたちに教えるための令和9年度再編の合意形成がどれだてなされているか根拠となる指標をえるために早急なアンケート調査を求めます。</p>

16	大城(桃陵中)	<p>第5回の説明会に傍聴させてもらいましたが、やはり令和9年の再編は早すぎると思います。教育委員会の人たちだけで進めて、実際通う子どもたちは置き去りな気がします。再編に辺り子どもたちにも色々な所で参加させて再編先の学校に通うのが楽しみなる様にする必要があると思います。それには後1年では短すぎます。学校の垣根を越えて子どもたちが校歌や校章などを実際に会ったりオンラインで話し合う場を設けたりしてみてもはどうでしょうか。通うのは大人ではなく子どもです。子どもたちの意見も聞く場も設けて欲しいです。事務的な事は令和9年度に間に合うかもしれませんが、子どもたちの不安な気持ちのケアは1年では短すぎると思うんです。特に大城小学校は2校に離れます。ほかの学校より心のケアが必要だと思うんです。令和9年に再編するなら今の時点で何かしら子どもたちに寄り添う事をやっていないといけないんじゃないんじゃないでしょうか。</p> <p>だいたい学校再編ってこんな短いスパンで進める事ではないと思います。</p> <p>あっ、再編そのものには賛成ですよ。ただ、進め方に問題があると思っています。</p>
17	陶	<p>第5回考える会まで終えて、ずっと腑に落ちないことがあるので意見させていただきます。</p> <p>発言権のある委員に現役子育て世代が少ないこと、更には全く発言されない方がいらっしゃることに疑問です。</p> <p>第5回では傍聴席の方が挙手しておられましたが、止められました。</p> <p>聞く気があり、意見もあり、単に反対を主張するのではなく、より良い中身にするために前向きな姿勢のある人が発言できません。</p> <p>何も言わない=同意、合意とみなされることに憤りを感じます。</p> <p>委員以外は、言わないのではなく【言わせてもらえない】のです。</p> <p>そしてその合意形成についての質問でも、核心を避けた回答であったと感じます。</p> <p>いずれは必要な措置だという認識は、確かに私にもあります。ただ、令和9年実施ということには同意していません。</p> <p>そこを前半の部分だけ抜き取り「ご理解いただいている」とするのは、あまりに強引ではありませんか？</p> <p>バスエリア、添乗員配置など住民の声に寄り添ってくださった面があることも確かですが、1番大きな部分をグレーのまま突き進もうとしていることに、不信感が拭えません。</p>